

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 極細径針 1 本で刺激・計測を行う極低侵襲局所負荷試験

2. 研究代表者： 鶴岡 典子（東北大学 大学院工学研究科 助教）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、微細針 1 本を皮膚に刺入し、全身の代表として皮膚局所に負荷を与え、その反応を計測して身体の状態を把握する、局所負荷試験針を開発する研究である。

フェーズ 1 では、やや遅れているところもあるが、デバイスの作製に着実に取り組み、成果も出ていることは、評価できる。また、光導波路付きの針を作成して乳酸濃度の計測の可能性を検証を進めている。

フェーズ 2 では、糖負荷試験・インスリン抵抗性の計測評価を低侵襲の方法へ置き換える可能性のあるシステム構築を試みる。化学的負荷の検討に関して、十分に本研究に理解を示し協同してくれる臨床医科学者と協力し、創出した技術の具体的な出口戦略の検討に注力いただきたい。

以上